

施策取組状況確認シート	
基本方針	1 自然環境の保全
対象分野	1 自然景観
行政の施策	① 田園環境の保全と農業の活用 ② 自然景観の保全・創出に向けた広報・PR
取組事業名	② 美化運動等に係る住民への周知
計画期間	・全地区対象の美化運動は6月、10月、2月の年3回実施。 ・安藤川をきれいにする会による安藤川沿いのクリーン作戦(14地区対象)と、埼玉県央域荒川クリーン協議会における荒川河川敷不法投棄一斉撤去(関係機関職員対象)は11月の同日実施。
成果指標	長い年月をかけて毎年の恒例行事となった美化運動を、地域の要望を汲み取って気持ちよく継続していただくことが最も重要であり、目標設定になじまない。広報・PRは継続して実施していく。
H29実績値	・全地区対象の美化運動に対しては、区長配送による事前の区長宛通知とごみ収集袋を配布。 ・安藤川をきれいにする会による安藤川沿いのクリーン作戦における事前打合せ及び区長配送による文書回覧(14自治会・H29参加者: 539名、収集量1, 180kg)。 ・埼玉県央域荒川クリーン協議会における荒川河川敷不法投棄一斉撤去に対しては、協議会と事前に内容を調整して町で実施。
H30目標値	目標設定になじまない。
最終目標値(終期)	目標設定になじまない。
進捗状況(%) H29実績値/H30目標値	目標設定になじまない。
課題	・全地区対象の美化運動に対して、地区独自の活動である「もがり」もあるため、地区の負担が大きいという声がある。 ・参加者は高齢者が多く、年々人員の確保が困難になっている。 ・中山(八幡団地)地区より、美化運動時の臨時収集箇所を増設してほしいという声がある。
担当課	町民生活課(生活環境グループ)

施策取組状況確認シート	
基本方針	1 自然環境の保全
対象分野	1 自然景観(農地)
行政の施策	① 田園環境の保全と農業の活用 ② 自然景観の保全・創出に向けた広報・PR
取組事業名	①-1 経営所得安定対策推進事業 ①-2 多面的機能支払い事業 ①-3 農地集積事業
計画期間	平成27年4月1日～平成32年3月31日 ①-1 毎年度実施 ①-2 毎年度1地区追加実施 ①-3 毎年100ヘクタール追加実施
成果指標	①-1 農業者の所得確保。 ①-2 農地の景観形成。遊休農地・耕作放棄地減少。 ①-3 農地の規模拡大と保全。
H29実績値	①-1 取り組みが定着し、作付け率97%で生産調整が達成されてきた。 ①-2 活動組織が2組織になり、地域に合った活動を行うことで、地域の環境形成に役立った。 ①-3 約320ヘクタールの農地を集積した。
H30目標値	①-1 飼料用米・加工用米に対する補助金の取り組みを推進する。 ①-2 1組織増やし計3組織にする。 ①-3 100ヘクタールの農地を集積する。
最終目標値(終期)	①-1 農業者の所得確保。 ①-2 各地区1組織の取り組み。 ①-3 トータルで750ヘクタールの集積をする。
進捗状況(%) H29実績値/H30目標値	①-1 100% ①-2 100% ①-3 100%
課題	①-1 米価の価格変動。 ①-2 事務の煩雑。 ①-3 耕作放棄地対策。
担当課	農政産業課

施策取組状況確認シート	
基本方針	1 自然環境の保全
対象分野	1 自然景観
行政の施策	① 田園環境の保全と農業の活用 ② 自然景観の保全・創出に向けた広報・PR
取組事業名	② 桜つつみ、川の広場及びさくら通りの保守管理及びPR 鳥羽井沼の広場の活用方法の検討
計画期間	② 3月～4月 鳥羽井沼の検討については、鳥羽井沼を愛する会と調整
成果指標	② 年間を通して実施しており、目標設定になじまない。
H29実績値	② 釘無地先堤防止上にある、桜の保守管理及び周辺の雑草管理や桜つつみの保全の実施
H30目標値	目標設定になじまない。
最終目標値(終期)	目標設定になじまない。
進捗状況(%) H29実績値／H30目標値	目標設定になじまない。
課題	・立地条件が良くない為、訪問者の受け入れ態勢、PR等の周知方法の検討。 ・現在は、休憩施設と開花時期に合わせ仮設トイレの設置トイレのみなので、訪問者が楽しめるイベントや販売などの検討。 ・鳥羽井沼の広場の活用方法の検討。
担当課	まち整備課都市計画G

施策取組状況確認シート	
基本方針	1 自然環境の保全
対象分野	1 自然景観
行政の施策	① 田園環境の保全と農業の活用 ② 自然景観の保全・創出に向けた広報PR
取組事業名	① 学校給食センターの運営事業(地元産食材の利用拡大)
計画期間	① 毎年度実施(通年実施)
成果指標	① 地元産食材の使用割合 ※米については、川島町産米 その他の食材については、指標として定めることが困難
H29実績値	① 米については、川島町産コシヒカリを100%使用している。
H30目標値	① 米については、100%
最終目標値(終期)	① 米については、100%
進捗状況(%) H29実績値/H30目標値	① 米については、100%
課題	本町は水田地帯であり、野菜の作付面積に限られるため、品目や収穫量が少なく、安定した必要量を確保できないことがある。
担当課	教育総務課(給食グループ)

施策取組状況確認シート	
基本方針	1 自然環境の保全
対象分野	2 河川、水辺
行政の施策	① 水辺空間の保全の推進 ② 水辺空間の利用の推進
取組事業名	①、② 川のまるごと再生プロジェクト (川の国埼玉はつらつプロジェクト)平成29年度
計画期間	①、② 平成27年4月1日～平成32年3月31日 当初の計画に沿って魚道を完成させる。
成果指標	①、② 川の再生事業
H29実績値	①、②-1 出丸堰魚道工事 ①、②-2 中山堰河川協議
H30目標値	①、②-1 出丸堰魚道工事完了。 ①、②-2 中山堰魚道工事完了。
最終目標値(終期)	
進捗状況(%) H29実績値／H30目標値	①、②-1 80% ①、②-2 60%
課題	①、② アユの遡上の調査。
担当課	農政産業課

施策取組状況確認シート	
基本方針	1 自然環境の保全
対象分野	2 河川、水辺
行政の施策	① 水辺空間の保全の推進 ② 水辺空間の利用の促進
取組事業名	① 都市公園の維持管理 ② 平成の森公園内における各種イベント開催
計画期間	① 平成の森公園内噴水・滝流れ等の施設管理。 ② 5/5平成の森公園内における水と触れあうイベント開催。
成果指標	① 年間を通して実施しており、数値目標になじまない。 ② イベントは毎年実施が前提であるため、数値目標になじまない。
H29実績値	① 施設の老朽が進み、ポンプの故障により修繕が必要となっている。 ② 魚のつかみ取り、金魚すくい、船乗り体験の実施 5月中旬から9月末までの土日(夏休み期間は毎日)に滝流れの実施(今年度は、7月中旬からポンプが故障した為、滝流れの実施不可)
H30目標値	目標設定になじまない。
最終目標値(終期)	目標設定になじまない。
進捗状況(%) H29実績値/H30目標値	目標設定になじまない。
課題	・施設の老朽化対応。 ・修景池の植物(葦、ハス、蒲の穂)繁茂管理。 ・イベント時の安全面から魚のつかみ取りの方法の検討 ・滝流れについては、風情を楽しむもので、流れの中に入って遊ぶものではない為、注意喚起を実施している。しかし、自己責任という認識の中で入って遊ばせている。
担当課	まち整備課都市計画G

施策取組状況確認シート	
基本方針	1 自然環境の保全
対象分野	3 動植物、生態系
行政の施策	① 生物生息空間の確保 ② 外来生物対策の推進
取組事業名	①-1 長楽用水路生息魚類分布調査 ①-2 魚介類の保護培養のため乱獲禁止看板を設置 ②町環境保全条例に基づく外来魚種の規制。オオキンケイギク、セアカゴケグモの駆除の周知
計画期間	①-1 平成17年度 ①-2 平成20年度 ②毎年度
成果指標	①、② 生物関連の苦情件数
H29実績値	①、② 生物関連の苦情件数の減少した割合(平成29年度は5件) ①-1 長楽用水路に生息する魚類を捕獲採集して分布を確認し、「埼玉県川島町長楽用水路生息魚類分布調査報告書」がある。 ①-2 魚介類の保護培養のため、町内30箇所に乱獲禁止看板を設置。 ②町条例に基づき指導する。町広報紙、町HPに掲示。外来魚種、オオキンケイギクは自生を確認しだいで駆除。セアカゴケグモは町内では発見の連絡は受けていない。
H30目標値	①、② 生物関連の苦情件数 4割減
最終目標値(終期)	①、② 生物関連の苦情件数 0件
進捗状況(%) H29実績値/H30目標値	①、② 40%(H29実績値 5件/H30目標値 3件)
課題	①-1、①-2 ・他の場所は実施していない。 ・平成20年度以降実施していない。
担当課	町民生活課(生活環境グループ)

施策取組状況確認シート	
基本方針	1自然環境の保全
対象分野	3動植物、生態系
行政の施策	①生物生息空間の確保 ②外来生物対策
取組事業名	①②-1 川島町鳥獣被害防止計画 ①②-2 埼玉県アライグマ防除実施計画に基づく、防除の実施
計画期間	①②-1 平成30年～平成32年度 ①②-2 毎年度実施
成果指標	①②-1 農作物の被害の減少 ①②-2 アライグマの捕獲
H29実績値	①②-1 平成29年度中に、被害防止対策協議会を設立、平成30年度に計画を作成した。 ①②-2 146頭
H30目標値	
最終目標値(終期)	①②-1 被害金額 ハクビシン52千円 アライグマ551千円 タヌキ271千円 被害面積 ハクビシン0.01ha アライグマ0.11ha タヌキ0.05ha ①②-2 全頭
進捗状況(%) H29実績値/H30目標値	
課題	①②-2 比企地域(埼玉県)全体でアライグマが増えてきている。町単独では、どうにもいかになくなっている。また、アライグマ関連の事務の負担が増えすぎている。
担当課	農政産業課

施策取組状況確認シート	
基本方針	1 自然環境の保全
対象分野	3 動植物、生態系
行政の施策	① 生物生息空間の確保 ② 外来生物対策の推進
取組事業名	① ハンノキプロジェクト
計画期間	①-1 荒川で減少しているハンノキ林とハンノキに依存する生き物の保存計画(国土交通省との連携事業により毎年度実施) ①-2 「三ツ又沼ビオトープ」の環境保全(国土交通省との連携事業により毎年度実施)
成果指標	①-1、①-2 毎年度、国土交通省との連携事業として実施しており、総合学習の一環として実施しているため目標設定になじまない。
H29実績値	①-1、①-2 埼玉県のだるま蝶であるミドリシジミの餌とハンノキの苗を学校で育て、平成29年度までに107本の苗を三ツ又沼ビオトープに植栽を行った。なるプロジェクト平成29年度までに、ハンノキの苗を107本植栽し、環境保全活動を行ってきた。
H30目標値	①-1、①-2 具体的な目標値については、数値での表現に適さないため非表示
最終目標値(終期)	①-1、①-2 具体的な目標値については、数値での表現に適さないため非表示
進捗状況(%) H29実績値/H30目標値	①-1、①-2 数値での表現に適さないため非表示
課題	①-1、①-2 ハンノキプロジェクトは、国や県の支援により支えられている。川島町のある三ツ又沼ビオトープで、ハンノキプロジェクトの活動を行っているということ、地元の方々が承知していない。広報活動を積極的に行うことで、地元の多くの方々にこのような活動が長く行われていることに関心を持っていただくことが課題である。また、学校統合により、つばさ南小学校が、本プロジェクトを、継続して実施することについての周知徹底を図る必要がある。
担当課	教育総務課(学校教育グループ・旧出丸小学校・現つばさ南小学校)

施策取組状況確認シート	
基本方針	1 自然環境の保全
対象分野	4 自然とのふれあい
行政の施策	① 自然とふれあえる場の整備 ② 自然とふれあう機会の充実
取組事業名	① 川のまるごと再生プロジェクト (川の国埼玉はつらつプロジェクト)平成28年度 ② 観光案内看板設置事業
計画期間	①、② 平成27年4月1日～平成32年3月31日 ① 埼玉県が事業を推進している「川の再生」において、水辺空間の保全を実施しており、町をはじめ土地改良区や地域の団体からも要望して事業を進める。 ② 観光で川島町に訪れた方やサイクリストを中心に、町の魅力を知ってもらう一つの手法として、数箇所に観光案内看板を設置する。
成果指標	①、②とも数値目標になじまない
H29実績値	① 平成27年度に「川のまるごと再生プロジェクト」が終了し、水辺環境の整備をはじめ、概ね当初計画どおりに事業を完了した。 ②実績はこれまでなかったが、平成31年度に白鳥駐車場に設置予定。
H30目標値	目標設定になじまない。
最終目標値(終期)	目標設定になじまない。
進捗状況(%) H29実績値／H30目標値	目標設定になじまない。
課題	① 河川環境の問題については、地域によって温度差があり、すべての河川が同様の取組を行えるわけではない。地域での協力体制等が課題である。 ② 看板設置に関しては堤防上と河川敷地には不可能である。
担当課	農政産業課

施策取組状況確認シート	
基本方針	1 自然環境の保全
対象分野	4 自然とのふれあい
行政の施策	① 自然とふれあえる場の整備 ② 自然とふれあう機会の充実
取組事業名	① 地域子ども教室(各地区6箇所を実施) ② かわじま野菜を育てて野菜料理に挑戦(親子参加)
計画期間	① 平成18年度から実施中 ② 平成26年度から実施中
成果指標	① 各地区の体験活動における環境学習の導入件数 ② 毎年度実施しており、目標設定になじまない
H29実績値	① 年間計画に沿って実施している。各教室年間12回程度の様々な体験活動を通じて、環境について学ぶ機会を提供した。 ② 「さつまいも」の苗付けから収穫までを行い、食べ物である植物がどのように成長するか、体験的に理解することで、自然と触れ合う機会の充実を図った。
H30目標値	① 「環境学習」を主題とした活動を実施する。 ② ひきつづき同様の体験教室を実施し、環境への理解を深める。
最終目標値(終期)	① 各教室において「環境学習」を主題とした活動を年間1回程度実施する。
進捗状況(%) H29実績値/H30目標値	① 100% ② 100%
課題	① 魚釣りや稲刈り、野菜収穫、芋ほりといった活動を通して、環境について学んでいるものの、環境を主題とした活動数が少ない。今後、増やしていく必要がある。 ② 無し
担当課	生涯学習課(生涯学習グループ)

施策取組状況確認シート	
基本方針	2 生活環境の保全
対象分野	1 大気環境
行政の施策	① 大気環境への負荷の軽減 ② 大気環境の監視と保全意識の高揚
取組事業名	①-1 町環境保全条例に基づくアイドリングストップの推進 ①-2 東松山環境管理事務所との事業者への立入検査の実施 ②ダイオキシン測定
計画期間	① 随時 ② 平成30年6月5日から平成31年2月15日まで (契約額:1,188,000円)
成果指標	① 駐車場関連の苦情件数 ② 全国的課題であり、一自治体の努力では難しい。また、気象条件に左右されやすく、安定した数値を確保することが難しいため、目標設定にはなじまない。
H29実績値	①-1 苦情は1件。条例に基づき指導する。主に、開発事前協議において、駐車場(20台以上収容または面積が500㎡以上)設置が予定されている場合に、アイドリングストップ看板設置の義務付けを周知。 ①-2 特定施設の届出がある施設の中で、近年、通報や問題が発生した箇所を、東松山環境管理事務所との事業者への立入検査の実施箇所としている。年間15箇所程度実施。H29は、20箇所の実施。 ② 町内2箇所で、年2回調査。
H30目標値	① 駐車場関連の苦情件数 0件 ② 目標設定にはなじまない。
最終目標値(終期)	① 駐車場関連の苦情件数 0件 ② 目標設定にはなじまない。
進捗状況(%) H29実績値/H30目標値	0%(H29実績値 1件/H30目標値 0件)
課題	
担当課	町民生活課(生活環境グループ)

施策取組状況確認シート	
基本方針	2 生活環境の保全
対象分野	1 大気環境
行政の施策	①大気環境への負荷の軽減(ごみの野焼き禁止) ②大気環境の監視と保全意識の高揚
取組事業名	①農地パトロール
計画期間	①平成27年4月1日～平成32年3月31日 年1回実施
成果指標	①年間で3回程度、地域の農業委員、農地利用最適化推進委員が主体となり、野焼きなどがないか独自にパトロールを行なう。遊休農地や耕作放棄地になると野焼き等の元凶となる可能性が高くなるため、遊休農地、耕作放棄地の解消に努める。 野焼き通報件数:0件
H29実績値	①農地パトロールを1回実施 野焼き通報件数:2件
H30目標値	①農地パトロール1回 野焼き通報件数:0件
最終目標値(終期)	①農地パトロール3回 野焼き通報件数:0件
進捗状況(%) H29実績値/H30目標値	100%
課題	野焼きについては、基本的に禁止していることを知らない方々も多く、周知として広報紙などで呼びかけてはいるが、年間で数件は発生している状況である。
担当課	農業委員会

施策取組状況確認シート	
基本方針	2 生活環境の保全
対象分野	2 水環境
行政の施策	① 適正な排水対策の推進 ② 水質の監視と保全意識の高揚
取組事業名	①-1 小型合併処理浄化槽設置整備補助金 ①-2 小型合併処理浄化槽維持管理補助金 ②-1 比企河川合同水質調査 ②-2 東松山環境管理事務所との事業者への立入検査の実施 ②-3 「せつけん運動ネットワーク」への協力
計画期間	①-1 毎年11月30日まで受付 ①-2 毎年度末まで受付 ②-1 毎年度実施 ②-2 特定施設の届出がある施設の中で、近年、通報や問題が発生した箇所を、東松山環境管理事務所との事業者への立入検査の実施箇所としている。 ②-3 毎年5月
成果指標	①-1 小型合併処理浄化槽設置補助件数(転換部分) ①-2 小型合併処理浄化槽定期検査受検率 ②-1 一自治体の取組みだけでは達成が難しく目標設定になじまない。 ②-2 随時対応しており目標設定になじまない。 ②-3 毎年度協力させていただいており目標設定になじまない。
H29実績値	①-1 平成28年度から県・町等の補助金を増額して、年度当初から、広報紙や個別訪問等により住民に周知を行って単独槽等からの転換を進めている。転換9件。 ①-2 41.6% ②-1 年4回、7地点を測量 ②-2 随時実施 ②-3 平成30年10月に機関紙「せつけん運動」への町長メッセージの掲載。
H30目標値	①-1 転換15件 ①-2 46.6%
最終目標値(終期)	①-1 転換年間15件 ①-2 50.3% (H32年度末)
進捗状況(%) H29実績値/H30目標値	①-1 60%(H29実績9件/H30目標15件) ①-2 89.3%(H29実績41.6%/H30目標46.6%)
課題	①-1 H28年度から大幅に補助金を増やしたが、今後も補助金を継続できるか国と県の動向が不透明。また、将来的に、実際に転換が可能な補助対象世帯数を精査し、把握することが必要。 ②-1 上流の自治体の取組みに影響され、一自治体の努力では難しい。また、天候や水量により数値にかなりばらつきがある。
担当課	町民生活課(生活環境グループ)

施策取組状況確認シート	
基本方針	2 生活環境の保全
対象分野	2 水環境
行政の施策	① 適正な排水対策の推進 ② 水質の監視と保全意識の高揚
取組事業名	① 雨水排水処理基準の指導
計画期間	・随時
成果指標	・雨水排水について、開発等の相談時指導
H29実績値	100%
H30目標値	100%
最終目標値(終期)	随時
進捗状況(%) H29実績値/H30目標値	100%
課題	開発行為を伴わないものについては、雨水排水処理は行政指導の中で、ご協力をお願いしている。指導に、従っていただくまでに時間を要する場合がある。
担当課	まち整備課都市計画G

施策取組状況確認シート	
基本方針	2 生活環境の保全
対象分野	2 水環境
行政の施策	① 適正な排水対策の推進 ② 水質の監視と保全意識の高揚
取組事業名	① 下水道未接続世帯への下水道接続促進
計画期間	① 随時
成果指標	① 下水道処理区域内の世帯数のうち、水洗化とした世帯数の割合
H29実績値	① 下水道接続率 95.9%
H30目標値	① 下水道接続率 97%
最終目標値(終期)	① 下水道接続率 100%
進捗状況(%) H29実績値/H30目標値	① $95.9/97.0=98.8\%$
課題	接続の意義については理解してもらえるが、高齢者世帯や経済的な負担により接続ができない世帯があり、全戸接続には至っていない。
担当課	上下水道課 下水道グループ

施策取組状況確認シート

基本方針	2 生活環境の保全
対象分野	3 騒音・振動
行政の施策	① 騒音・振動対策の推進 ② 公害苦情の適正処理
取組事業名	① 法や県条例に基づく指導や、苦情対応 ② 水質汚濁や悪臭等への苦情対応
計画期間	①、② 随時対応
成果指標	①、② 随時対応しており目標設定になじまない。
H29実績値	① 苦情件数 2件 ② 苦情件数 9件
H30目標値	①、② 随時対応しており目標設定になじまない。
最終目標値(終期)	①、② 随時対応しており目標設定になじまない。
進捗状況(%) H29実績値/H30目標値	①、② 随時対応しており目標設定になじまない。
課題	①、② 苦情は事情もさまざまであり、経験則が通用しない場合もあり、毎回慎重な対応が求められる。
担当課	町民生活課(生活環境グループ)

施策取組状況確認シート

基本方針	2 生活環境の保全
対象分野	4 その他公害防止
行政の施策	①化学物質対策の推進 ②その他公害防止に向けた取り組みの実践
取組事業名	①ばいじん及び焼却灰、排ガス等環境調査 1)ばい煙測定 2)ごみ組成分析 3)燃え殻調査 4)飛灰調査 ②放射性物質測定検査
計画期間	①及び②共通: 焼却施設が稼働を停止するまで毎年実施
成果指標	①②共通で、国が定める基準値を超えないように運転管理をしている。

H29実績値

表 2-2 ばい煙測定結果総括表

項目	単位	測定項目	平成29年			平成30年	規制値 (上乗せ)	指導 基準
			5月19日 (1号炉)	8月10日 (2号炉)	11月17日 (1号炉)	2月16日 (2号炉)		
ばいじん濃度	g/m ³	実測値	<0.0021	<0.0024	<0.0022	<0.0024	-	-
		換算値(12%)	<0.0038	<0.0043	<0.0032	<0.0045	0.15	-
全硫黄酸化物量	ppm m ³ /h	実測値	5.5	0.5	0.8	<0.5	-	-
		換算値(12%)	0.26	0.024	0.032	<0.026	73.23	-
窒素酸化物濃度	ppm	実測値	47	71	71	47	-	-
		換算値(12%)	81	120	86	95	250	180
塩化水素濃度	mg/m ³	実測値	13	<5.0	<5.0	<5.0	-	-
		換算値(12%)	22	<9.5	<7.6	<9.5	700 (200)	-
排出ガス量	m ³ /h	湿り	56,300	57,800	60,800	63,400		
		乾き	47,800	47,800	52,000	53,600		
排出ガス温度	℃		167	169	167	159		
排出ガス流速	m/s		8.85	9.30	9.51	9.80		
水分量	%		15.1	17.3	14.4	15.4		
酸素濃度	%		15.8	16.1	14.8	16.3		

表 2-5 ごみ質組成分析結果

項目	測定項目	平成29年				平成30年	平均値
		5月19日	8月10日	11月17日	2月26日		
乾物	紙・布類	58.57(%)	62.94(%)	32.56(%)	45.86(%)	49.98(%)	
	ビニール・合成樹脂・ゴム類・皮革類	17.15(%)	19.05(%)	19.98(%)	26.26(%)	20.61(%)	
	木・竹・わら類	9.46(%)	5.12(%)	7.71(%)	9.62(%)	7.98(%)	
	厨芥類	10.47(%)	10.94(%)	31.67(%)	13.95(%)	16.76(%)	
基組	不燃物	0.64(%)	0.61(%)	1.46(%)	1.30(%)	1.00(%)	
	その他※	3.71(%)	1.34(%)	6.62(%)	3.01(%)	3.67(%)	
準成	合計	100.00(%)	100.00(%)	100.00(%)	100.00(%)	100.00(%)	

※ 孔径寸法5mmのふるいを通過したもの

川島町の環境センターごみ処理施設に焼却灰の放射性物質測定結果について

採取日	検体 ※2	ヨウ素		セシウム	
		131	134	137	合計
平成30年3月2日	焼却灰	不検出	不検出	14.9	20.1※3
	ばいじん(飛灰)	不検出	不検出	81.2	98.3※3

※1 平成23年3月11日に発生した東日本大震災に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法(平成23年8月30日法律第110号)

H30目標値	各項目の規制値未満の数値
最終目標値(終期)	焼却施設の停止まで、各項目の規制値未満の数値
進捗状況(%) H29実績値/H30目標値	100%(予定した検査回数、測定値は基準未満)
課題	施設が経年劣化により、本来の機能が発揮できなくなっており、排ガス規制機能などの能力が低下してきている。
担当課	町民生活課(施設グループ)

施策取組状況確認シート	
基本方針	3 快適環境の保全
対象分野	1 公園・緑地
行政の施策	① 公園・緑地の適正な整備と維持・管理 ② 良好な景観の形成・創出
取組事業名	① 業務委託による適正な維持管理
計画期間	① 年間を通じての整備維持管理
成果指標	① 年間を通じた維持管理であり、目標設定になじまない。
H29実績値	① 定期的な改修修繕等の実施や、大規模な整備については計画的に実施し、緊急性の高いものについては早急な対応を実施。
H30目標値	目標設定になじまない。
最終目標値(終期)	目標設定になじまない。
進捗状況(%) H29実績値／H30目標値	目標設定になじまない。
課題	①公園は24時間開放している為、いたずらも多く施設管理が難しい。
担当課	まち整備課都市計画G

施策取組状況確認シート	
基本方針	3 快適環境の保全
対象分野	2 歴史・文化
行政の施策	① 文化財の保護
取組事業名	①-1 文化財の保存事業 ①-2 文化財の調査事業 ①-3 文化財に対する意識向上事業
計画期間	継続的に実施中
成果指標	①-1 継続的な実施。 ①-2 町内の埋蔵文化財包蔵地での開発等による土木工事に対して、試掘調査を実施。 ①-3 町内の文化財の保存・活用に対して、補助金を交付。
H29実績値	①-1 国の重要文化財である、廣徳寺大御堂の防災設備管理補助金を交付。また、毎年1月26日の文化財防火デーでは、川島消防署と協力し文化財管理者の所へ訪問し、防火指導を実施。 ①-2 町内の埋蔵文化財包蔵地での開発等による土木工事に対して、一件の試掘調査を実施。 ①-3 川島町文化財保存事業費補助金・川島町伝統芸能補助金を伝統芸能の保存団体に交付。
H30目標値	①-1 年2回の文化財の防火・防災設備の点検の実施。 ①-2 包蔵地に係る埋蔵文化財について、開発予定地が該当する場合は、試掘を実施。 ①-3 補助金に関する説明会を開催し、補助金継続的な利用促進を図る。
最終目標値(終期)	①-1 文化財の所有者に対する防火・防災意識の向上及び ①-2 包蔵地に該当する埋蔵文化財の保存。 ①-3 伝統芸能保存団体へ補助金を交付。
進捗状況(%) H29実績値/H30目標値	①-1 100% ①-2 100% ①-3 100%
課題	後継者の育成がどの団体にも共通の課題である。また、団体独自の選出方法によって、後継者になれない等の、古くからの決まりごとがある団体に対して今後どう対応していくか時間をかけて協議する必要がある。
担当課	生涯学習課(生涯学習グループ)

施策取組状況確認シート	
基本方針	3 快適環境の保全
対象分野	3 廃棄物・リサイクル
行政の施策	① ごみの減量化の推進 ② リサイクルと適正処理の推進
取組事業名	① 可燃ごみ20%減量化計画に基づく事業 ② 集団資源回収事業報奨金交付
計画期間	① H29～H31 ② 年間を通じて実施
成果指標	① 可燃ごみ排出量の減少した割合 ② 町内全体の収集できる資源回収量は毎年ほぼ決まっており、それを団体で分け合っている状態のため、目標設定になじまない。
H29実績値	① 5.7%(346t) ② 各団体が実施した資源回収量に対して、川島町集団資源回収事業報奨金交付要綱に基づき報奨金を交付 平成29年度 数量 508,275kg 交付金 1,524,825円
H30目標値	① 可燃ごみ20%減量化計画の2年目は平成28年度比較で16%減(975t減)
最終目標値(終期)	① 可燃ごみ20%減量化計画の3年目は平成28年度比較で20%減で、1,219t減(平成31年度末)
進捗状況(%) H29実績値/H30目標値	① 35.5%(H29実績値 346t/H30目標値 975t)
課題	① 可燃ごみ20%減量化計画の進捗状況に伸びがなくなってきている。 ② 平成28年度に、年2回以上の実施が補助要件となっていたが、構成メンバーの減少もあり、年1回以上の実施という要件とした。今後の推移を見守りたい。
担当課	町民生活課(生活環境グループ)

施策取組状況確認シート	
基本方針	3 快適環境の保全
対象分野	3 廃棄物・リサイクル
行政の施策	① ごみの減量化の推進 ② リサイクルと適正処理の推進
取組事業名	① 3R運動推進事業 ② ごみ処理施設の維持管理事業
計画期間	① 平成41年度まで ② 焼却施設及び粗大ごみ破碎機能については、(仮称)埼玉中部資源循環センターが稼動するまで。その他機能については、期限は無い。
成果指標	① 依頼が来るようにPRする。もしくはこちらから積極的に働きかける ② 老朽化が著しい施設を、経費を切り詰め、修繕等を効率よく実施しながら、延命策を講じていく。
H29実績値	① 実施なし(ただし、1月から地区別分別説明会を他の事業で実施しているため、そういった意味では、H29～H30にかけ全行政区にて説明を実施。 ② H29塵芥処理費 331,705千円
H30目標値	① 旧六ヶ村単位で年間で2回、計12回程度説明会を実施。 ② 目標設定はできない。
最終目標値(終期)	① 旧六ヶ村単位で年間で2回、計12回程度説明会を実施。 ② 目標設定はできない。
進捗状況(%) H29実績値/H30目標値	① 他の事業との兼ね合いにより100% ② 目標設定できない。
課題	① 説明会を実施しても、本当に聞いてもらいたい人は参加しない。そうした人たちにどうやって推進するかといった手法を考案する必要がある。 ② (仮称)埼玉中部資源循環センターの完成まで、焼却施設が保てば
担当課	町民生活課(施設グループ)

施策取組状況確認シート	
基本方針	3 快適環境の保全
対象分野	4 環境美化、不法投棄対策
行政の施策	① 美化活動の推進 ② 不法投棄対策の充実・強化
取組事業名	①-1 美化運動の実施 ①-2 わんわんマナーアップパトロール隊 ②-1 シルバー人材センターによる町内巡回パトロール ②-2 空き地の雑草等の管理 ②-3 東松山環境管理事務所との不法投棄パトロール
計画期間	①-1 年6回 ①-2 随時受付、随時実施 ②-1 月間計画表に基づき実施 ②-2 随時 ②-3 年1回
成果指標	①、②とも成果目標になじまない。
H29実績値	①-1 年3回の地域の美化運動は、事前回覧で依頼通知とビニール袋配布。該当日は町環境センターにてごみ受付。埼玉県央域荒川クリーン協議会における荒川河川敷不法投棄一斉撤去に対しては、協議会と事前に内容を調整して町で実施。クリーン作戦における事前打合せ及び区長配送による回覧文書で該当地域で実施。 ①-2 パトロール隊員を犬集合注射時や常時窓口で受付。町HP上で隊員を公開。散歩中のマナーアップと防犯パトロールを実施する。8件申込あり ②-1 経験と勘に基づき町内を巡回パトロールしていただき、不法投棄ゴミを発見しだい回収。4月から毎月実施 ②-2 通報や発見がありしだい草刈を手配 ②-3 東松山環境管理事務所と合同でパトロール。
H30目標値	目標設定になじまない。
最終目標値(終期)	目標設定になじまない。
進捗状況(%) H29実績値/H30目標値	目標設定になじまない。
課題	空き地などの指導については、ほとんどの地権者が対応してくれているが、町外の一部の地権者の中には対応が遅れがちな面も見られる。
担当課	町民生活課(生活環境グループ)

施策取組状況確認シート	
基本方針	4 環境保全活動の推進
対象分野	1 地球温暖化防止
行政の施策	① 町の事務事業からの温室効果ガスの排出削減
取組事業名	①-1 エコアップ推進活動 ①-2 庁舎への太陽光設備の導入
計画期間	①-1 毎年度、5月1日から10月31日までクールビズを実施。 ①-2 新庁舎建設に合わせて、庁舎屋上に太陽光発電設備20kW、蓄電池15kwhを設置。
成果指標	①-1 随時実施しているものであり、目標設定になじまない。 ①-2 工事の完了。
H29実績値	①-1 随時実施。 ①-2 平成27年11月末より稼働中。
H30目標値	①-2 100%
最終目標値(終期)	①-2 100%
進捗状況(%) H29実績値/H30目標値	①-2 100%
課題	①-1 毎年実施しており、町民等にも周知が行き届いている。 ①-2 太陽光発電設備の導入状況を更に周知し、環境教育等の啓蒙活動に結び付けていきたい。
担当課	政策推進課(政策財政・管財情報グループ)

施策取組状況確認シート	
基本方針	4 環境保全活動の推進
対象分野	1 地球温暖化防止
行政の施策	①町の事務事業からの温室効果ガスの排出削減 ②町民や事業者の意識向上
取組事業名	①地球温暖化対策実行計画の策定
計画期間	①平成30年度中
成果指標	①地球温暖化対策実行計画の策定完了
H29実績値	①未策定。
H30目標値	①地球温暖化対策実行計画の策定完了
最終目標値(終期)	①地球温暖化対策実行計画の策定完了
進捗状況(%) H29実績値/H30目標値	0%
課題	関係機関と調整して策定する必要がある
担当課	町民生活課(生活環境グループ)

施策取組状況確認シート	
基本方針	4 環境保全活動の推進
対象分野	1 地球温暖化防止
行政の施策	① 町の事務事業からの温室効果ガスの排出削減 ② 町民や事業者の意識向上
取組事業名	町の事務事業からの温室効果ガスの排出削減事業(学校への太陽光発電設備等の導入事業)
計画期間	①毎年度実施(川島中学校については、2023年度以降)
成果指標	①小中学校への太陽光発電設備及び蓄電池設置
H29実績値	①87.5%(新規設置なしの現状どおり)
H30目標値	①87.5%(現状値) ※平成30年3月31日をもって、閉校となった2校を除くと83.3%(6校中5校設置済み)
最終目標値(終期)	②100%(2023年度以降)
進捗状況(%) H29実績値/H30目標値	87.5%(8校中、川島中学校を除く7校に設置済み)(平成29年度末) 83.3%(閉校となった2校を除く6校中、川島中学校を除く5校に設置済み)(平成30年度～) ※川島中学校については、校舎屋上の形状が設備に適合せず)
課題	新規設置については、国庫補助金や県補助金を活用したが、今後の更新等については、全額町予算で対応する必要があり財政的な負担が大きい。また、廃校となった2校に設置してある設備については、跡地の活用次第によっては、処分等を行う必要もある。
担当課	教育総務課(学校教育グループ)

施策取組状況確認シート	
基本方針	4 環境保全活動の推進
対象分野	2 省エネ・省資源
行政の施策	①省エネ・省資源の取り組み、省エネ機器の普及の推進 ②自動車利用に際しての省エネの推進
取組事業名	①-1 庁舎等公共施設への再生可能エネルギーの導入 ①-2 低燃費・低公害車の導入 ②-1 エコドライブの実施 ②-2 地域公共交通の導入
計画期間	①-1 新庁舎建設に伴い、中水設備、地中熱利用設備及び高効率空調・照明器具(LED)を導入。 ①-2 公共車の更新時、PHV車等を導入。 ②-1 随時実施。 ②-2 毎月、デマンドタクシーの利用状況を収集し、地域の実情に合った公共交通の導入を検討。
成果指標	①-1 工事の完了。 ①-2 全公用車におけるPHV車等の割合。 ②-1 安全運転講習等により繰り返し教育していくものであり、目標設定になじまない。 ②-2 地域の実情に合わせ、その都度見直していくものであり、目標設定になじまない。
H29実績値	①-1 平成27年11月末より稼働中。 ①-2 公用車45台中1台をPHVに更新済み。(全体の2%)
H30目標値	①-1 100% ①-2 2%
最終目標値(終期)	①-1 100% ①-2 8%(議長車に加え、町長車、副町長車、22号車をPHVとした場合)
進捗状況(%) H29実績値/H30目標値	①-1 100% ①-2 100%
課題	①-1 導入状況を更に周知し、環境教育等の啓発活動に結び付けていきたい。 ①-2 予算の制約もあるため、PHV等の導入は限定して軽自動車の導入と併せて実施していく必要がある。 ②-1 特に運転技術が未熟なものへの教育を重点的に実施していく必要がある。 ②-2 費用対効果や民間バス事業者等とのバランスを踏まえ、適切な交通弱者支援策を実施する必要がある。
担当課	政策推進課(政策財政・管財情報グループ)

施策取組状況確認シート	
基本方針	4 環境保全活動の推進
対象分野	2 省エネ・省資源
行政の施策	① 省エネ・省資源の取り組み、省エネ機器の普及の推進 ② 自動車利用に際しての省エネの推進
取組事業名	①-1 エコライフDAYの実施 ①-2 クールビズ、ウォームビズの実施 ①-3 クールシェアの実施 ② シルバードライバードッグの推進
計画期間	①-1 夏休み前、冬休み前(年2回) ①-2 クールビズ(5月1日～10月31日)、 ウォームビズ(冬季) ①-3 7月1日～9月30日 ② 随時
成果指標	①、②とも成果目標になじまない
H29実績値	①-1 各小中学校、役場に参加用紙を配布、回収して集計。結果を県に報告。 ①-2 広報かわじまやHPで町役場において実施している旨周知した ①-3 役場を含む町内7箇所で実施 ② 6月区長配送で回覧して制度を周知。各教習所や警察署へ申込していただく。随時、申込受付中
H30目標値	目標設定になじまない。
最終目標値(終期)	目標設定になじまない。
進捗状況(%) H29実績値/H30目標値	目標設定になじまない。
課題	①-1 集計は、事務量が多い ①-2 外出した際等、ネクタイをせざるを得ない場所のときに困る ② 各教習所と警察署との連携がうまくいっておらず、申込受付体制ができていない
担当課	町民生活課(生活環境グループ)

施策取組状況確認シート	
基本方針	4 環境保全活動の推進
対象分野	3 環境教育・環境学習
行政の施策	① 環境情報の提供の推進 ② 環境教育・環境学習の活発化
取組事業名	① 環境情報の提供 ② 3R運動推進事業
計画期間	① 平成41年度まで ② 平成41年度まで
成果指標	①②共通で、どれだけの町民に環境に関する情報を共有してもらえるか
H29実績値	① 広報紙へのごみ情報の掲載、HPへの環境情報の掲載、他の事業による地区分別説明会の実施、ごみ分別アプリによる情報発信。 ②小学生施設見学、親子3R講座の実施。
H30目標値	①途切れずに、随時、情報を発信していく。 ②幅広い層への、情報発信と理解度を高めるための仕掛けづくり
最終目標値(終期)	①②共通で、最終は無く、継続することが必要。
進捗状況(%) H29実績値/H30目標値	①②共通で、数値での表現は難しい。
課題	本来は、大きな会場で多くの人を集めて、共通理解を深めたいところだが、特にターゲットとなる人たちは参加しない。たかがごみ、されどごみで、みな放っておけないものの、現状で満足しているため、ごみに関するコスト意識や施設の老朽化など危機感をあおる必要がある。
担当課	町民生活課(施設グループ)

施策取組状況確認シート	
基本方針	4 環境保全活動の推進
対象分野	3 環境教育・環境学習の活発化
行政の施策	①環境情報の提供の推進 ②環境教育・環境学習の活発化
取組事業名	①地域子ども教室(各地区6箇所で開催) ②かわじま野菜を育てて野菜料理に挑戦(親子参加)
計画期間	①平成18年度から実施中 ②平成26年度から実施中
成果指標	①各地区の体験活動における環境学習の導入件数 ②毎年度実施しており、目標設定になじまない
H29実績値	①年間計画に沿って実施している。各教室年間12回程度の様々な体験活動を通じて、環境について学ぶ機会を提供した。 ②「さつまいも」の苗付けから収穫までを行い、食べ物である植物がどのように成長するか、体験的に理解することで、自然と触れ合う機会の充実を図った。
H30目標値	①「環境学習」を主題とした活動を実施する。 ②ひきつづき同様の体験教室を実施し、環境への理解を深める。
最終目標値(終期)	①各教室において「環境学習」を主題とした活動を年間1回程度実施する。
進捗状況(%) H29実績値/H30目標値	①100% ②100%
課題	①魚釣りや稲刈り、野菜収穫、芋ほりといった活動を通して、環境について学んでいるものの、環境を主題とした活動数が少ない。今後、増やしていく必要がある。 ②無し
担当課	生涯学習課(生涯学習グループ)

施策取組状況確認シート	
基本方針	4 環境保全活動の推進
対象分野	3 環境教育・環境学習
行政の施策	① 環境情報の提供の推進 ② 環境教育・環境学習の活発化
取組事業名	①、② 田園環境の保全と農業の活用(みどりの学校ファームなどの農業体験事業を促進し、環境教育を推進する。)
計画期間	① 随時実施 ② 毎年度実施
成果指標	① 随時対応しており目標設定になじまない。 ② 学校で定期的に取り組んでいるため目標設定になじまない。
H29実績値	①毎年度、川島町みどりの学校ファーム推進協議会を開催し、関係機関との情報交換を行った後、各校でそれぞれ農業体験を行い、環境教育の推進が図れた。 ②毎年度、川島町みどりの学校ファーム推進協議会を開催し、関係機関との情報交換を行った後、各校でそれぞれ農業体験を行い、環境教育の推進が図れた。
H30目標値	①随時対応しており目標設定になじまない。 ②学校で定期的に取り組んでいるため目標設定になじまない。
最終目標値(終期)	①随時対応しており目標設定になじまない。 ②学校で定期的に取り組んでいるため目標設定になじまない。
進捗状況(%) H29実績値／H30目標値	①随時対応しており目標設定になじまない。 ②学校で定期的に取り組んでいるため目標設定になじまない。
課題	特になし。
担当課	教育総務課(学校教育グループ)

施策取組状況確認シート	
基本方針	4 環境保全活動の推進
対象分野	3 環境教育・環境学習
行政の施策	① 環境情報の提供の推進 ② 環境教育・環境学習の活発化
取組事業名	環境教育・環境学習の活性化(小・中学生を対象としたごみ処理施設見学会)
計画期間	① 随時実施 ② 毎年度実施
成果指標	① 随時対応しており目標設定になじまない。 ② 学校で定期的に取り組んでいるため目標設定になじまない。
H29実績値	① 随時対応しており目標設定になじまない。 ② 学校で定期的に取り組んでいるため目標設定になじまない。
H30目標値	①随時対応しており目標設定になじまない。 ②学校で定期的に取り組んでいるため目標設定になじまない。
最終目標値(終期)	①随時対応しており目標設定になじまない。 ②学校で定期的に取り組んでいるため目標設定になじまない。
進捗状況(%) H29実績値/H30目標値	①随時対応しており目標設定になじまない。 ②学校で定期的に取り組んでいるため目標設定になじまない。
課題	実際に環境センターへ見学に行くことによって、川島町の現状を知ることができ、自分たちの住む川島町の環境をよくしていこうという気持ちをもつことができるため、継続することにより、さらにより環境づくりに関心がもてるよう働きかけることが重要である。小中学校では、様々な教育を行っているため、環境教育・環境学習について、十分時間を確保できない。
担当課	教育総務課(学校教育グループ)

施策取組状況確認シート	
基本方針	4 環境保全活動の推進
対象分野	4 環境保全活動
行政の施策	① 自発的な環境保全の取り組みの推進 ② 連携・協力による環境保全の取り組みの推進
取組事業名	① エコアクション21認証取得に向けた無料講習会開催 ②-1 「埼玉県央域荒川クリーン協議会」による一斉撤去 ②-2 「安藤川をきれいにする会」による安藤川クリーン作戦
計画期間	① 年間全5回を予定。 ② 平成30年11月25日。
成果指標	① 参加団体数 ② 成果目標になじまない
H29実績値	① 川越市、日高市、富士見市、坂戸市、三芳町と合同で講習会を開催。参加企業は無料で受講できる。講習会開催のための事前打合せ、町HPや町広報紙による事前周知、10人以上の従業員を要する企業あて紹介文書送付。町商工会役員会におけるPR。 ②-1 埼玉県央域荒川クリーン協議会と連携して、町で実施 ②-2 該当地域住民が実施(14自治会)
H30目標値	① 5団体
最終目標値(終期)	① 5団体
進捗状況(%) H29実績値/H30目標値	① 40%(H29実績値 2団体/H30目標値 5団体)
課題	① 平成29年度は、講習会について、町商工会に登録する町内5人以上が働く企業全てに周知を行ったが、町内からの参加はなかった。
担当課	町民生活課(生活環境グループ)